

問

林務分野での協力隊の活用を

町長 事例を参考に可能性を模索する

まちづくり株式会社

の応募状況

町長 6月から設立準備の地域おこし協力隊員3人の募集をしているが応募状況は。

町長 6月から設立準備スタッフとして3人の募集をしており、現在まで1人の応募があったところだ。

全国的に見ても募集人員に対し応募人数が

足りてない傾向があり、応募までには相当期間が必要になると考える。

園芸作物栽培への協力隊の活用

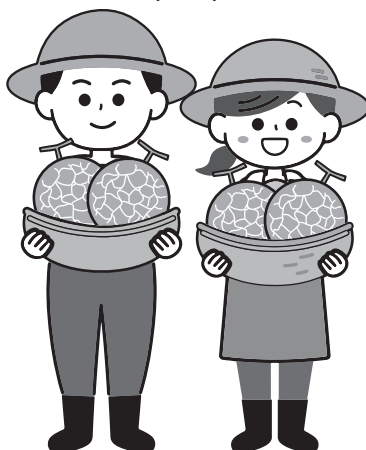
町長 今後まちづくり株式会社業務にもなるだろう農作物の6次産業化などに必要なメロンを含めた園芸作物栽培への協力隊の活用は。



よこ 余湖 議員
りゅうぞう 龍三 議員

国の制度を十分に活用しましょう

協力隊の活用でメロン栽培の新規就農を!



町長 園芸作物栽培への協力隊員の活用は、栽培技術を指導する受け入れ農家の確保や協力隊を卒業した後の経営基盤の確保など移住や定住支援に向けた事前の課題の整理も必要なので、現段階では難しいと考える。

今後、各関係機関などと調整を進めながら可能性を模索していく。

林務分野での

協力隊の活用

町長 将来にわたり町に利益をもたらす林務分野での協力隊員の募集・活用の考えは。

町長 林務係の主な業務内容は、民有林管理推進事業などの補助事務、森林整備計画の策定とその計画の管理、伐採および伐採後の造林届出などの事務、町有林の管理事業や生産素材の処分、森林の病害虫・有害鳥獣の防除や狩猟に関するなど多岐にわたる。

本町における現状のなかで、現時点においては町有林管理の人材として地域おこし協力隊を活用することは難しいと考えているが、林業に関する地域おこし協力隊を採用している全国の自治体の事例を参考にしながら、今後、本町の実情に合った林務分野における協力隊任務の可能性も視野に模索する。

町にとって必要な山の仕事を訓子府で起業しよう!

